

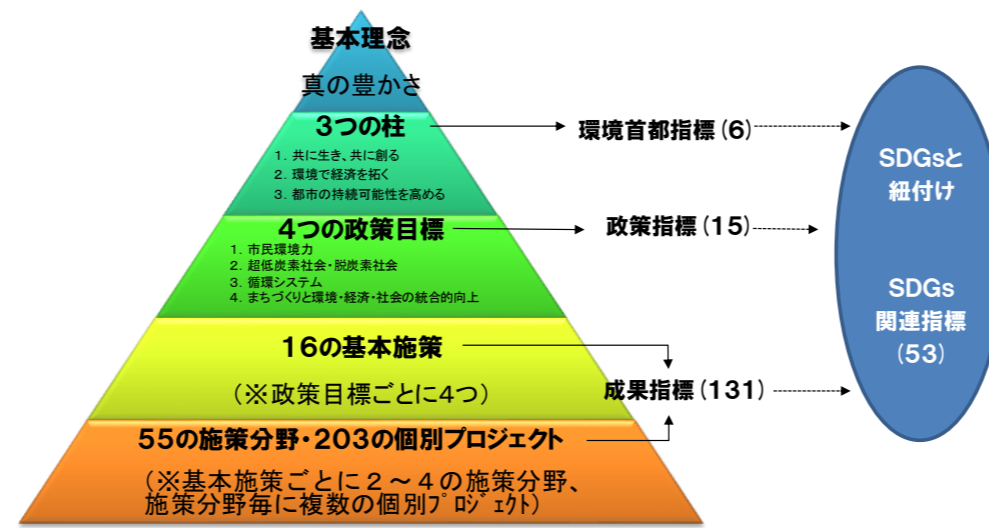


北九州市環境基本計画 進捗評価報告（令和元年度実績）の概要について

1 進捗評価の概要

「北九州市環境基本計画」とは、北九州市環境基本条例に基づき、環境の保全に関する施策を総合的・計画的に推進するために策定した計画です。

進捗評価の目的は、「北九州市環境基本計画」の実効性を確保し、計画の着実な推進を図るために、環境首都指標の進捗状況や、各政策目標・基本施策・施策分野及びそれらを裏付ける203（令和元年度分は199）の個別プロジェクトの取組状況を、指標等を活用して定量的・定性的に進捗点検を行うものです。これは、「計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）」のPDCAサイクルに沿って実施するものです。



2 総合評価

下表のとおり、評価を実施した203プロジェクト（令和元年度分は199）については、「A：積極的推進」及び「B：一部見直し」のみでした。「A」が66.3%（132件）で、前年度の65.5%（133件）から率としては上昇しており、概ね順調に推進できたものと考えています。一方、新型コロナウイルス感染症の影響も受け、予定通り実施できない事業も一部ありました。

政策目標	項目	プロジェクト数	年度	A:積極的推進	B:一部見直し
第1 市民環境力の発展『北九州環境ブランド』の確立	R元	44	年度	33 (75.0%)	11 (25.0%)
			R30	32 (72.7%)	12 (27.3%)
第2 超炭素化社会・脱炭素化社会の実現	R元	40	年度	23 (57.5%)	17 (42.5%)
			R30	23 (56.1%)	18 (43.9%)
第3 循環システムの構築	R元	77	年度	47 (61.0%)	30 (39.0%)
			R30	49 (62.0%)	30 (38.0%)
第4 豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上	R元	38	年度	29 (76.3%)	9 (23.7%)
			R30	29 (74.4%)	10 (25.6%)
合計	R元	199	年度	132 (66.3%)	67 (33.7%)
			R30	133 (65.5%)	70 (34.5%)

3 政策目標に対する評価

4つの政策目標すべてにおいて、「A：積極的推進」及び「B：一部見直し」のみで、「C：抜本的見直し」及び「D：廃止・休止」に該当するプロジェクトはなく、進捗としては概ね順調といえます。

第1 市民環境力の更なる発展とすべての市民に支えられた『北九州環境ブランド』の確立

エコライフステージや環境首都検定、まち美化啓発など官民一体となった取組みや、環境国際協力・環境国際ビジネスなどの取組み等が評価され、「日中韓三カ国環境大臣会合」が本市で開催されました。また、ESD活動では、表彰制度を「北九州SDGs未来都市アワード」として改編するなど、北九州ESD協議会との協働による実施を推進しています。

基本施策	項目	プロジェクト数	年度	A:積極的推進	B:一部見直し
1 環境活動と地域活性化の好循環	R元	17	年度	13 (76.5%)	4 (23.5%)
			H30	12 (70.6%)	5 (29.4%)
2 環境人財の育成	R元	12	年度	9 (75.0%)	3 (25.0%)
			H30	8 (66.7%)	4 (33.3%)
3 環境リスクへの対応	R元	5	年度	2 (40.0%)	3 (60.0%)
			H30	2 (40.0%)	3 (60.0%)
4 北九州環境ブランドの確立	R元	10	年度	9 (90.0%)	1 (10.0%)
			H30	10 (100.0%)	0
合計	R元	44	年度	33 (75.0%)	11 (25.0%)
			H30	32 (72.7%)	12 (27.3%)

第2 2050年の超低炭素社会とその先にある脱炭素社会の実現

再生可能エネルギーの導入量は、風力発電が政令市で第1位となるなど着実に成果を挙げています。また、風力発電関連産業の総合拠点化を見据え、響灘一般海域における自然環境調査や産学官連携による人材育成の取組み、「北九州水素タウン」での実証など、次世代エネルギーの拠点化に積極的に取り組んでいます。

基本施策	項目	プロジェクト数	年度	A:積極的推進	B:一部見直し
1 ストック型社会への転換	R元	17	年度	8 (47.1%)	9 (52.9%)
			H30	8 (44.4%)	10 (55.6%)
2 イノベーションと産業クラスターの構築	R元	9	年度	5 (55.6%)	4 (44.4%)
			H30	4 (44.4%)	5 (55.6%)
3 次世代エネルギー拠点の総合的な形成	R元	7	年度	4 (57.1%)	3 (42.9%)
			H30	4 (57.1%)	3 (42.9%)
4 アジア規模での超低炭素社会実現	R元	7	年度	6 (85.7%)	1 (14.3%)
			H30	7 (100.0%)	0
合計	R元	40	年度	23 (57.5%)	17 (42.5%)
			H30	23 (56.1%)	18 (43.9%)

第3 世界をリードする循環システムの構築

世界的な課題である「プラスチックごみ問題」について、自治体の対策としてまとめた「プラスチックスマート推進事業」を実施するとともに、UNEP（国連環境計画）と連携し、東南アジアを中心にプロジェクトを実施しています。また、「残しま宣言」運動などの食品ロスを削減する取組みを進めるとともに、北九州エコタウン事業や、PCB事業、自然共生社会の実現に向けた取組みを進めています。

基本施策	項目	プロジェクト数	年度	A:積極的推進	B:一部見直し
1 3Rプラスの推進と資源効率性向上	R元	24	年度	18 (75.0%)	6 (25.0%)
			H30	16 (64.0%)	9 (36.0%)
2 施設整備・技術開発と循環産業拠点都市の形成	R元	17	年度	13 (76.5%)	4 (23.5%)
			H30	13 (76.5%)	4 (23.5%)
3 化学物質や有害物質の適正処理・適正管理	R元	11	年度	5 (45.5%)	6 (54.5%)
			H30	5 (45.5%)	6 (54.5%)
4 生物多様性の確保による自然循環	R元	25	年度	11 (44.0%)	14 (56.0%)
			H30	15 (57.7%)	11 (42.3%)
合計	R元	77	年度	47 (61.0%)	30 (39.0%)
			H30	49 (62.0%)	30 (38.0%)

第4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと 環境・経済・社会の統合的向上

大気・水・土壌環境等の保全や環境アセスメントなどを通じた安全・安心なまちづくり、市民や企業と連携した環境首都・SDGsの実現に向けた取組みを進めています。また、「SDGs未来都市」、アジアで唯一の「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」として、本市のSDGsの更なる推進を図るとともに、国内外への積極的な発信も行っています。

基本施策	項目	プロジェクト数	年度	A:積極的推進	B:一部見直し
1 安全・安心でレジリエント(強靱)なまちづくり	R元	11	年度	9 (81.8%)	2 (18.2%)
			H30	9 (75.0%)	3 (25.0%)
2 環境と社会にやさしい快適なまちづくり	R元	9	年度	7 (77.8%)	2 (22.2%)
			H30	6 (66.7%)	3 (33.3%)
3 環境産業育成と国際的なビジネスの推進	R元	13	年度	8 (61.5%)	5 (38.5%)
			H30	9 (69.2%)	4 (30.8%)
4 SDGsの実現に向けた取組と環境ガバナンス	R元	5	年度	5 (100.0%)	0
			H30	5 (100.0%)	0
合計	R元	38	年度	29 (76.3%)	9 (23.7%)
			H30	29 (74.4%)	10 (25.6%)

4 SDGsの実現に向けた評価

本計画ではSDGsの17のゴールのうち、13のゴールで「SDGs関連指標」を設定し、環境施策の点検だけでなく、SDGsの進捗状況についても併せて点検を行っています。

今回は、環境施策との関係が強いゴール7、12、17を抽出し、評価しました。

主なSDGsのゴール	評価
ゴール7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに)	本市では、地域エネルギー政策を進め、風力、バイオマス、太陽光などの再生可能エネルギーの導入促進を図っています。 本ゴールの指標である「市域の再生可能エネルギー等導入量」は環境基本計画改定前の平成28年度と比べ、約100,000kW上昇しており、「順調」に推進しています。
ゴール12 (つくる責任 つかう責任)	本市では、一般廃棄物のリサイクル率政令市トップを目指し、ごみの減量化・資源化などの取組を進めています。 本ゴールの指標である「リサイクル率」は28.0%で目標に向け着実に取り組んでおり、また、「市民1人一日あたりの家庭ごみ量」は目標を達成しており、「順調」に推進しています。
ゴール17 (パートナーシップで目標を達成しよう)	本市では、環境国際協力を引き続き進め、途上国における技術の移転や人材の育成を支援しています。 本ゴールの指標である「アジアの環境人材育成のための研修員等の受講者数(単年度)」は目標を上回っており、「順調」に推進しています。